



HOPPY team TSUCHIYA
レースレポート
2025SUPER GT Rd.1 岡山国際サーキット

日時	2025年4月12-13日	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	岡山国際サーキット	■カーNo.	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	松井 孝允／佐藤 公哉
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	公式練習 27位／予選Q1 B組14位

「本当の意味での“つちやエンジニアリング復活”のシーズンに」

強い決意で臨むシーズンがはじまる!!

2025シーズンのSUPER GTシリーズがいよいよ開幕。舞台は今年も岡山県美作市、岡山国際サーキットだ。一昨年の不運なアクシデントから復活した昨シーズン、No.25 HOPPY Schatz GR Supra、通称「ホピ子2」。レースの舞台に戻ってはきたものの、土屋監督以下チーム一同、心から満足できる結果を得られたとは言い難かった。

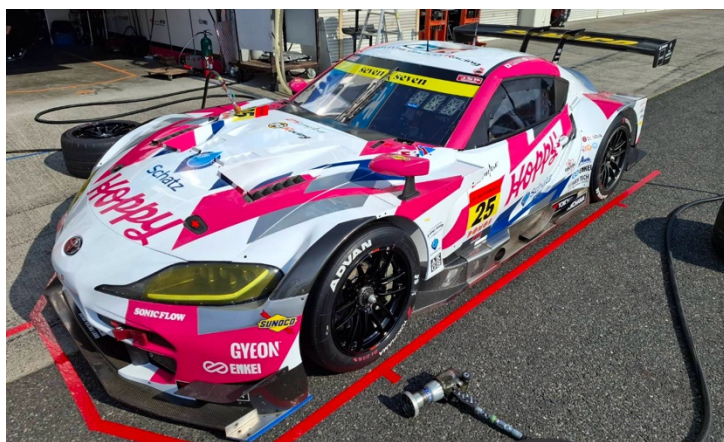
今季は「本当の意味での“つちやエンジニアリング復活”の年にする」、強い決意で臨むシーズンの開幕戦の戦いをレポートする。

真っ青な空に迎えられた、開幕戦、岡山国際サーキット。山間のサーキットの冷たい空気の中、開幕戦の土曜日を迎えた。

公式テストまでは一部黒いカーボン地剥き出しだったホピ子の2025仕様のカラーリングもお披露目となった。

搬入日の4月11日は奇しくも武士監督の父・春雄さんの4回目の命日。「スキを見せるとオヤジがイタズラする。きっとその辺で見てると思うから、スキを見せないように」自らに言い聞かせるようにスタッフ全員に声を掛けていた。

ただ、これまでの2度の公式練習は雨か寒さでドライでの十分なテストができないまま臨む開幕戦。決して簡単ではないとチームの全員が理解した中、最初のセッションが始まった。



▼公式練習 <27位 タイム：1分28秒086>

朝9時半。公式練習が始まる。最初のドライバーは松井孝允選手。最後の公式テストでは「まだまだやらなければいけないことがいっぱいある。だけど去年よりも進んでいってる感じがある」と語っていた松井選手。コースインするとじつくりとウォームアップ。じわじわタイムを上げ5周目に1分28秒631を記録しピットイン。その後8周目に1分28秒367、さらに13周目に1分28秒086までタイムを短縮し、ピットイン。ドライバー交代で佐藤公哉選手がコースへ。佐藤選手は短いスパンで1分29秒台で周回を重ねると、残り時間が少なくなったところで新品タイヤに履き替えてコースイン。1分28秒249までタイムを上げて、ここでセッション終了。テストで走れなかったドライコンディションで33周を走ることができたが、タイムはトップのスバルBRZから2秒878遅れの27位。結果だけを見るとやや厳しい船出となった。

▽土屋監督コメント「テストからちょっと厳しいかな、というのは分かっていたけど、変にとっ散らかるんじゃないくて、次に必要なものを掴んで、ということは落ち着いてできていた。改善していかなければいけないことは色々あるが、やるべきことはできている。地に足はついていていると思うよ。いつも通り諦めずにやっていきます！」

▽松井孝允選手コメント「厳しいな、と。でもその中で次に繋げていかないと。開幕戦という楽しみな所もあ

るが、僕はドライバーなので結果が欲しい。今年は監督の意気込みに引っ張られてるけど結果にはまだ繋がっていない。今後必ず結果につながるはず。諦めずにやっていく」

▽佐藤公哉選手コメント「率直に言うと苦労してますね。今シーズンちゃんとしたDRYコンディションで走れたのは初めてなので、そこで新たに出てきた問題点なのもあります。それにうまく合わせ込んでいきたい。やる気は満ち溢れています。応援してくださっている方々のために良いところを見せられるように頑張っていきたい」

▼公式予選

Q1. <B組14位 タイム：1分27秒237> Q2.進出ならず

決勝スターティンググリッド 27番

予選は今年から再びノックアウト方式に変更になった。Q1.はA,B二組に分かれて行われ、両組の上位9台ずつ、計18チームがQ2.に進出することができる。我らがホピ子はB組での出走となった。

公式練習後に土屋監督、松井、佐藤両選手、木野エンジニアの四人がパドックのトラックに消えたまま、なかなか戻ってこなかった。熱のこもったミーティングが行われていたに違いない。

迎えた予選Q1。B組で出走するHOPPY Team TSUCHIYAのドライバーは松井選手で10分間の予選がスタート。松井選手は懸命のドライビングを見せ5周目にこの日ベストとなる1分27秒237を叩き出す。しかしライバルが次々にそれを上回り、結果は14位。Q2進出はならず。A組の結果と合わせて13日の決勝は27位からのスタートとなった。不審の主な原因は、タイヤの選択とそれにクルマを十分に合わせ込めなかったところだということ。コーナーで十分なグリップを得られない状態が続いていたという。

一方で、今季、チームがもう一つ新しくチャレンジしているのが、国産のギアボックスの開発プロジェクト。こちらは初めてのドライでの100%アタックにも終始トラブルフリーと順調に開幕戦の初日を終えたことは、苦しい中にも大きなプラス材料となった。

全体的に厳しいスタートとなった開幕戦初日だが、武士監督以下チームは明日の決勝に向け、「やれるだけのことをやって、次へと繋げるレースをしよう」と、決して下を向いていない。

明日の決勝は昼頃まで雨の予報。ウェットからのドライへと変わる難しいコンディションとなりそうだが、HOPPY Team TSUCHIYAの巻き返しに注目してほしい。

▽土屋武士監督コメント「結果は残念だが、そんな中でも自分たちのやるべきことを見失わずに、改善できていたってことで、やるべきことはできたかな、という感触。ただ、応援してくださっている皆さんには申し訳ない気持ち大きい。ウェットからのスタートになりそうだが、どんな状況でも選択を間違わないよう準備して挑みたい」

▽松井孝允選手コメント「厳しかった。ただ、チームとしてはそんな中で進歩が感じられた。どうしていかなければいけないかはより明確になったので、この予選を無駄にするのではなくとにかく進んでいくしかない。この結果は受け止めて、間違いなくここから進歩していくと思う。（雨について）そこについてもポジティブな内容しか入れ込んでいない。土砂降りだと厳しいが、雨が少ない状況であればポイント獲得を目指して頑張っていきたい」

▽佐藤公哉選手コメント「Q1.は松井選手が今ある中で最高のアタックをしてくれた。明日はまた別の日としてしっかり頑張りたい。レースは荒れる可能性がある。天気の前報も刻一刻と変わっているし。荒れるとなるとチャンスはあるということ。ただ、チャンスがあればピンチもある。ピンチにならないように、変なことに巻き込まれないように、まずは完走目指して、かつ、あわよくば15位以内、ポイント獲得を目指して頑張りたい。（気持ちは）前向きです」

◎なお、先日YouTubeチャンネルを開設しました！ぜひご覧ください！https://www.youtube.com/@tsuchiya_25

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当：土屋・豊原